

## 本社・工場でゼロエミッション（廃棄物ゼロ）達成

### 1. 概要

株式会社トプコンはこのほど、全ての本社機能と設計・開発・製造・営業部門・研究所など、地方営業所を除く全部門を集約している東京都板橋区の本社・工場においてゼロエミッション（廃棄物ゼロ）を達成しました。当社環境ボランティアプランの重要項目の一つとして推進してきたこの目標達成を契機として、当社は環境保全推進の取組を更に充実させてまいります。

ここに当社環境保全の取組状況をご紹介します。

### 2. 背景

当社は1997年9月に環境保全のマネジメントシステムISO14001の認証（株式会社日本環境認証機構：JACO）を取得、環境保全に関する行動指針を定めてボランティアプランを推進しております。

この中で、本社・工場から出る排出物の総量を削減する取組と同時に、廃棄物をゼロにするいわゆるゼロエミッションへの取組も推進してきました。これは、全ての排出物について、埋立処分をゼロにしてすべてをリサイクルする、というもので、現在全力で推進中の2005年度を目標年度とした「新環境ボランティアプラン」の中でも、このゼロエミッションは2001年度（2002年3月期）の達成を目標に進めてまいりました。

現在、全ての排出物を原材料別に約40種類の項目に細分化し分別を行いリサイクルするシステムとなっております。金属類の再原料化はもとより、紙類の再生紙化、資材納入業者の協力による納入資材用ダンボールの再利用化・通い箱化等の他、廃プラスチック類を固形燃料化するなど、原材料の特性に合わせた方法で様々なリサイクル化を推進してきました。

### 3. ゼロエミッション達成のポイント

このほど、本社・工場の排出物総量の約17%（重量ベース）を占める分解困難物（複合材料でできており各原材料への分解が難しい物）など、在来方法ではリサイクルが難しかった品目について、ガス化溶融という高度な技術を利用するルートを開拓ことができ、これにより、分解困難物の埋立処分を廃止し、全ての排出物の全量リサイクル化を達成しました。

このガス化溶融処理により、従来埋め立て処分されていた排出物を全て燃料ガスとスラグ・メタル等に分解し、燃料、路盤材、金属精錬原料等として再利用します。当社でゼロエミッションの基準として掲げております「埋立処分する排出物をゼロにして全ての排出物をリサイクル化する」という目標を達成できましたため、ここに「ゼロエミッション」を宣言することといたしました。

#### 4. 今後の取組について

当社の「新環境ボランタリープラン」に基づき現在推進している排出物の削減、有害化学物質の削減、省エネルギーなど事業所自体に関するものに加え、市場に出る製品についても世界トップシェアの測量機器を初め、医用機器、産業機器の各分野でグリーン調達の実施と共に機器類の小型軽量・省電力化など、製品の開発、製造、販売からお客様にお使いいただいた後の廃却に至るまでの製品の全ライフサイクルをトータルでみた環境調和型の製品作りを追求してまいります。

これら環境保全活動のグループでの推進拡大により、企業経営に貢献する取組を展開してまいります。